

転倒転落防止情報36



歩行介助時の転倒どう防ぐ？



これくらいの距離感？

転倒防止対策としてよく耳にする【歩行介助】
せつかく歩行介助していても転倒する事例が散見されます。
みなさんは、どのように付き添って歩いていますか？

理学療法士に学ぶ！歩行介助のポイント

介助歩行が必要ということは、いつ転倒してもおかしくない状態ということ。
いざという時に支えられるように、身体の一部に手を添えておきます。

患者さんと、近すぎず、
遠すぎず、適度な距離
を保ちましょう

膝折れしそうな(筋力低下のある)
患者さんの場合



その①
脇の下に手を添える



その②
ズボンのウエスト部分を持つ

上着だけではなく、ズボンのウエスト部分をしっかりと持つこと

左右へのふらつきが大きい
患者さんの場合



真後ろに立って肩に
軽く手を添える

転倒しそうだ！ どうやって支える？ どうやって負傷を防ぐ？

その①
脇の下とズボンのウエスト部分をしっかりと保持
して身体を支える



その②
両脇に手を入れ、介助者の片膝に
座らせるように支える



支えきれなくても、このままゆっくりと腰を下ろすと、患者さんの負傷を防ぐことができます。